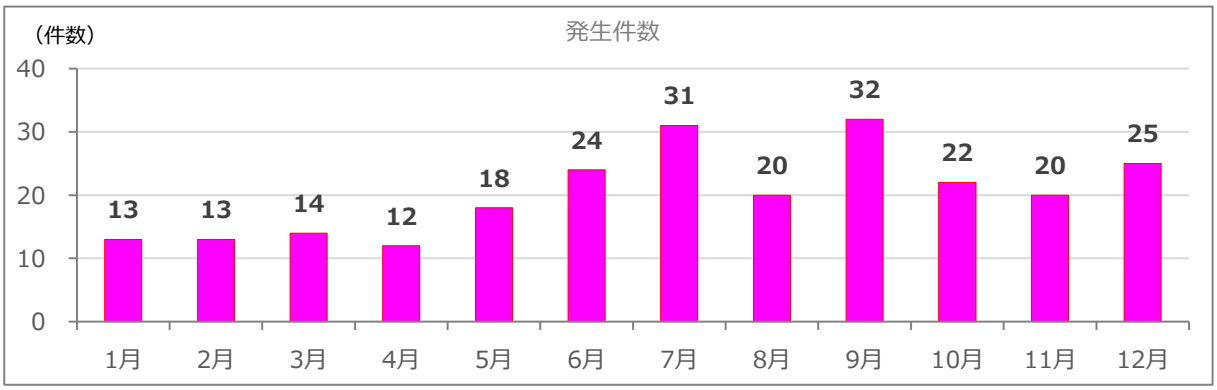
特定小型原動機付自転車の交通事故発生状況(令和6年)

◎ 月別推移

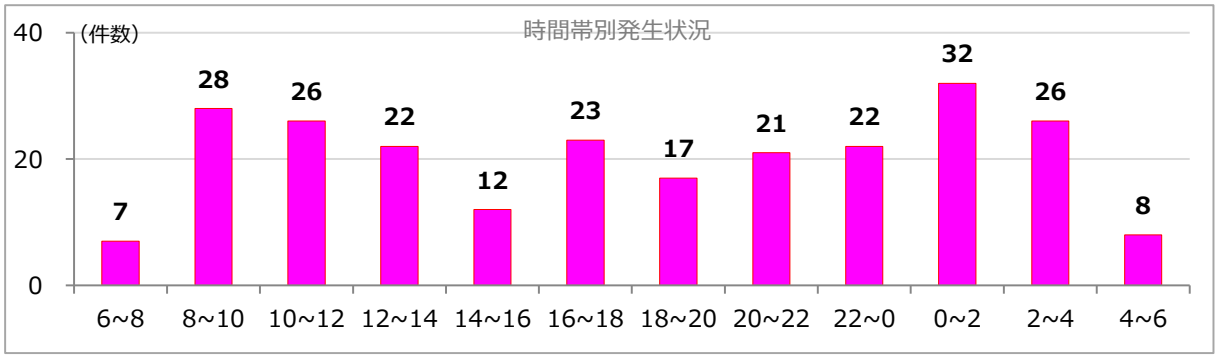


月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
発生件数	13	13	14	12	18	24	31	20	32	22	20	25	244

※　発生件数は、特定小型原動機付自転車が第1、第2当事者となった事故の合計件数です。

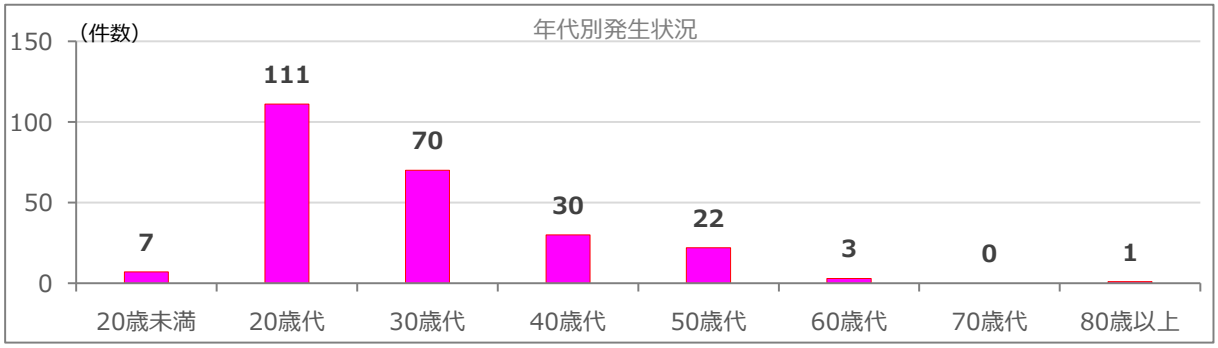
※　表中の数字は2025年1月10日現在のものです。今後修正される可能性があります。

◎ 時間帯別発生状況



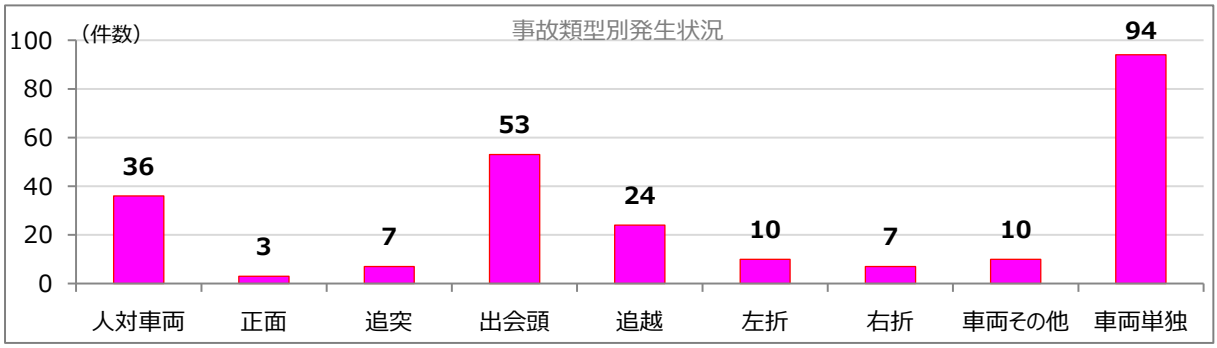
時間帯別		6~8	8~10	10~12	12~14	14~16	16~18	18~20	20~22	22~0	0~2	2~4	4~6	計
発生件数		7	28	26	22	12	23	17	21	22	32	26	8	244
	構成率	2.9%	11.5%	10.7%	9.0%	4.9%	9.4%	7.0%	8.6%	9.0%	13.1%	10.7%	3.3%	100.0%

◎ 年代別発生状況



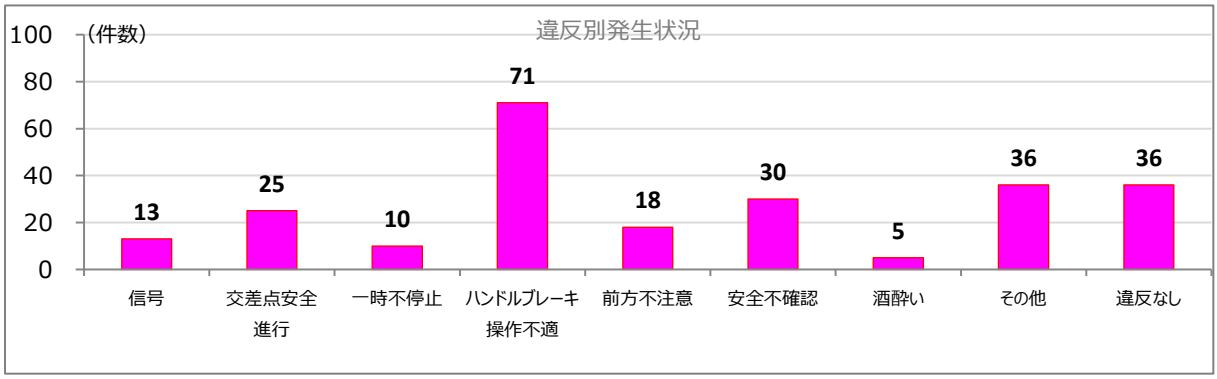
年代別		20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	合計
発生件数		7	111	70	30	22	3	0	1	244
	構成率	2.9%	45.5%	28.7%	12.3%	9.0%	1.2%	0.0%	0.4%	100.0%

◎　事故類型別発生状況



事故類型別		人対車両	正面	追突	出会頭	追越	左折	右折	車両その他	車両単独	計
発生件数		36	3	7	53	24	10	7	10	94	244
	構成率	14.8%	1.2%	2.9%	21.7%	9.8%	4.1%	2.9%	4.1%	38.5%	100.0%

◎　違反別発生状況



違反別		信号	交差点安全進行	一時不停止	ハンドルブレーキ操作不適	前方不注意	安全不確認	酒酔い	その他	違反なし	合計
発生件数		13	25	10	71	18	30	5	36	36	244
	構成率	5.3%	10.2%	4.1%	29.1%	7.4%	12.3%	2.0%	14.8%	14.8%	100.0%

令和６年の特定小型原動機付自転車の交通人身事故は、２４４件発生しています。
時間帯別では、早朝４～８時を除いた時間帯に多く発生し、深夜０～2時が最多の発生でした。
年代別では、２０歳代の事故が最も多く発生しており、発生件数のうち４５．５%を占めています。
事故類型別では、車両単独の事故が最多で３８．５%を占めていますが、車両同士の出会頭事故も多く発生しました。
違反別では、ハンドルブレーキ操作不適が最多ですが、信号無視や酒酔いなどの悪質な違反も発生しています。